

第 5 次寝屋川市地域福祉計画アンケート調査について

1. 調査の概要

(1) 調査目的

「第 5 次寝屋川市地域福祉計画」の策定に向けて、市内在住の18歳以上の市民、地域福祉に関わる活動や事業を行っている団体等を対象にアンケート調査を実施する。

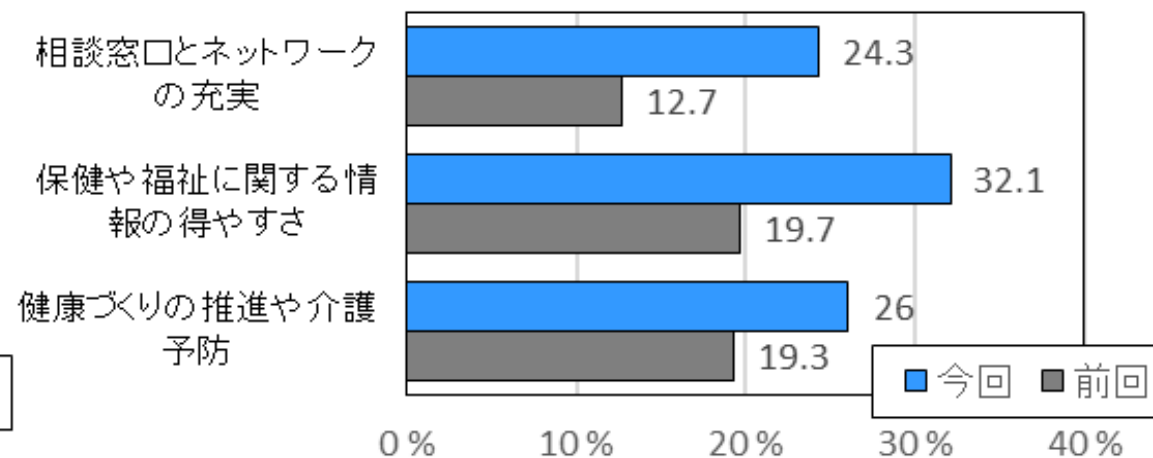
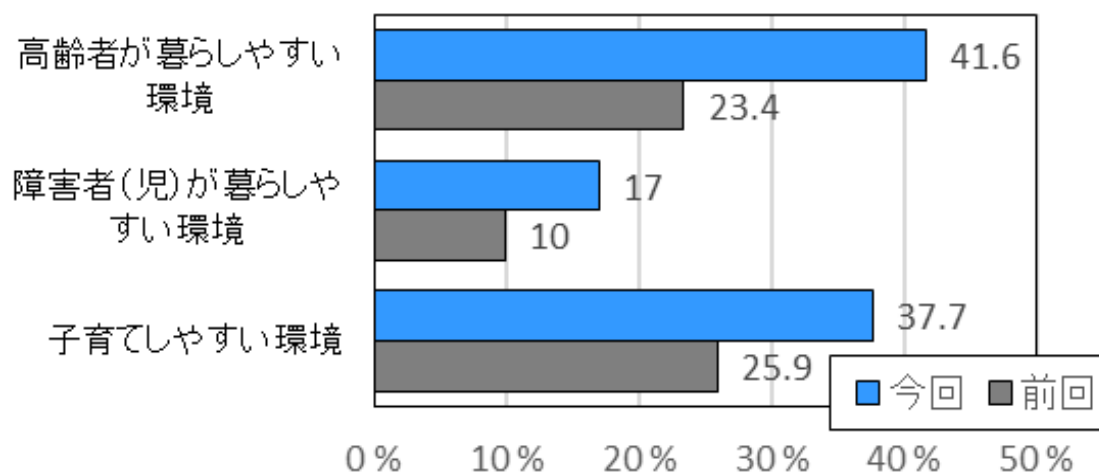
(2) 調査の対象と実施方法

調査対象	18歳以上の市民	福祉関係団体等
対象者数	3,477名（無作為抽出）	603団体（自治協、NPO、市民団体、事業所等）
調査方法	郵送による配布・回収及びWEB回答を併用	郵送もしくは直接配布・回収及びWEB回答を併用
調査期間	令和6年9月6日（金）～9月30日（月）	
回収状況	有効回答数 1,875件 （うち紙 1,554件、WEB 321件） 有効回答率 53.9%（前回調査 47.7%）	有効回答数 403件 （うち紙 324件、WEB 79件） 有効回答率 66.8%（前回調査 54.9%）

2. 主な調査結果（抜粋）

① 地域での暮らしに関する環境について

✓ お住いの地域で暮らしに関する環境についてどのように感じていますか？（問7）
『満足』『どちらかといえば満足』の割合

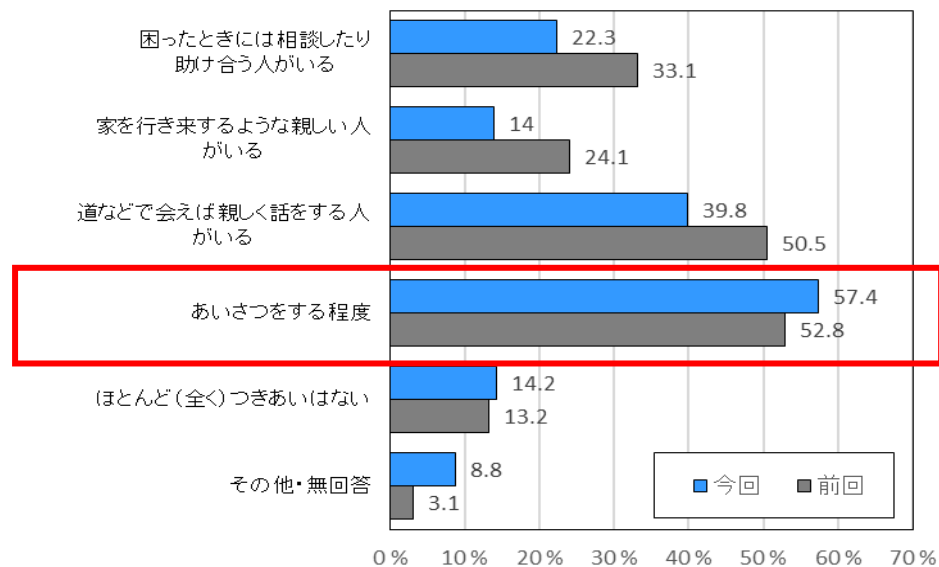


高齢者、障害者(児)、子育て環境の『満足度』は総じて高い。
➡福祉をはじめ各分野における施策の取組による成果である。

② 地域のつながりについて

- ✓ 近所の人とどの程度の交流があるか？
(問3 複数回答あり)

「あいさつをする程度」57.4%[前回調査 +4.6%]



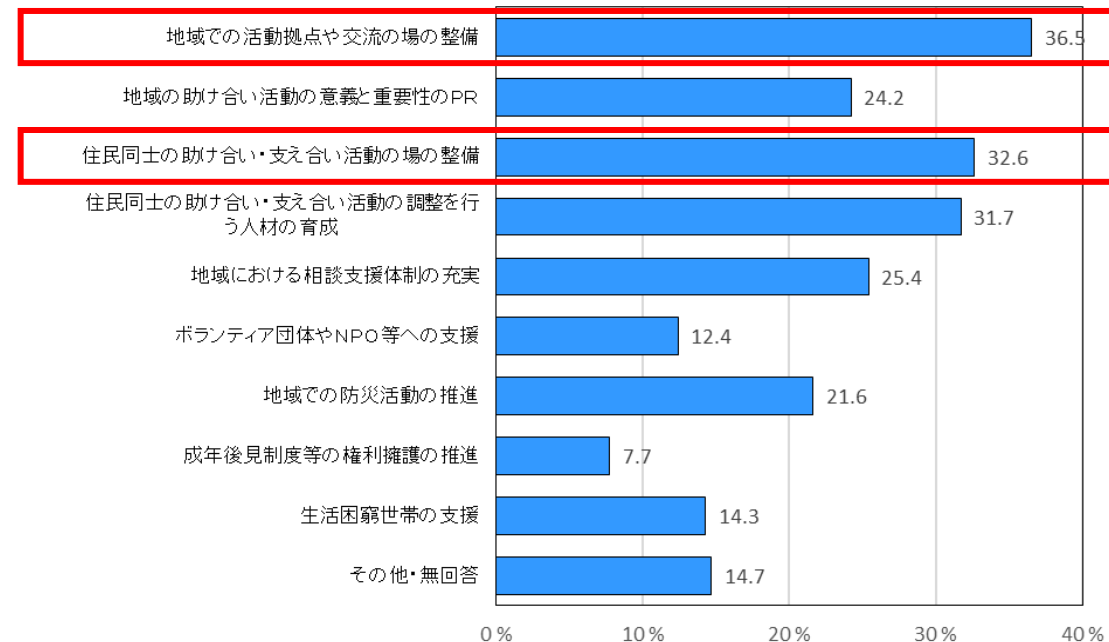
- ✓ 自宅や職場以外でつながりを実感できる場所や活動(居場所)がありますか？ (問6 新設)
『特になし』52.0%

- ✓ 住民同士の助け合い、支え合いを推進していくために、どのようなことに力をいれたらよいか？

(問14 複数回答あり)

「活動拠点や交流の場の整備」36.5%

「住民同士の助け合い・支え合い活動の場の整備」32.6%



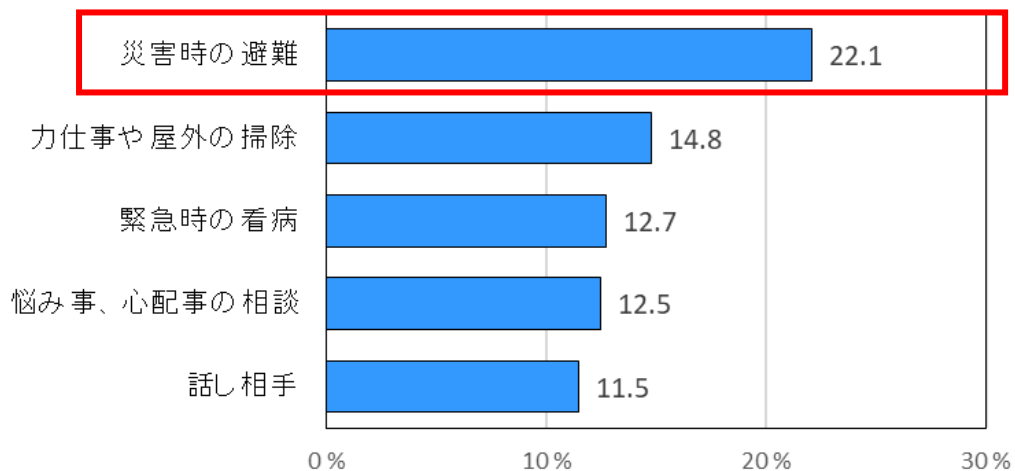
地域のつながりが希薄化傾向にある。

➡地域のつながりを強めるためには、『居場所づくり』が求められている。

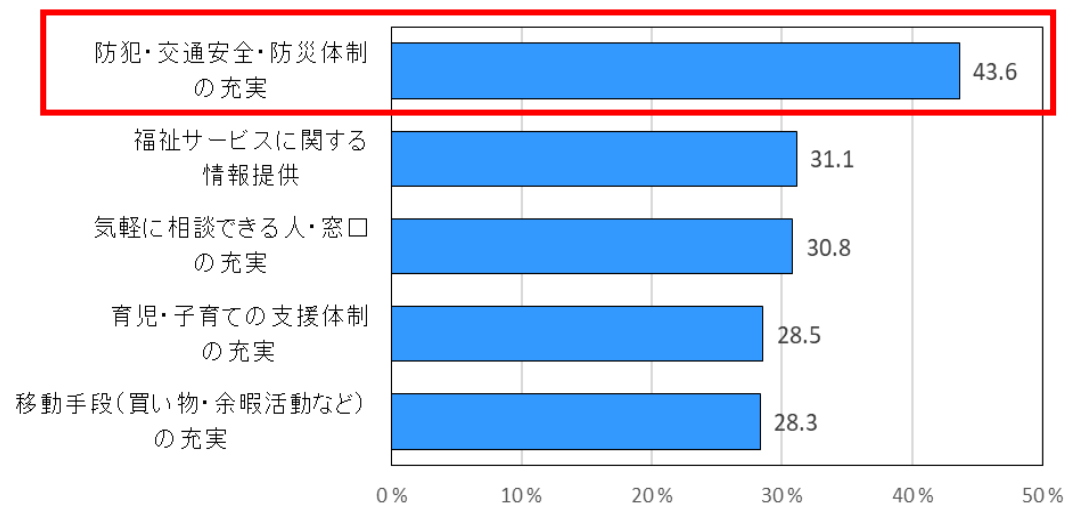
③ 地域における意識について

- ✓ ご近所とのお付き合いの中で、あなたが「手助けしてほしい」と思うことがありますか？逆に、あなた自身ができそうなこと、やってみたいと思いますか？（問9 複数回答）

『災害時の避難』 22.1%



- ✓ 今後、寝屋川市としてどのような施策に力を入れるべきだと思いますか？（問29 新設）
『防犯・交通安全・防災体制の充実』 43.6%



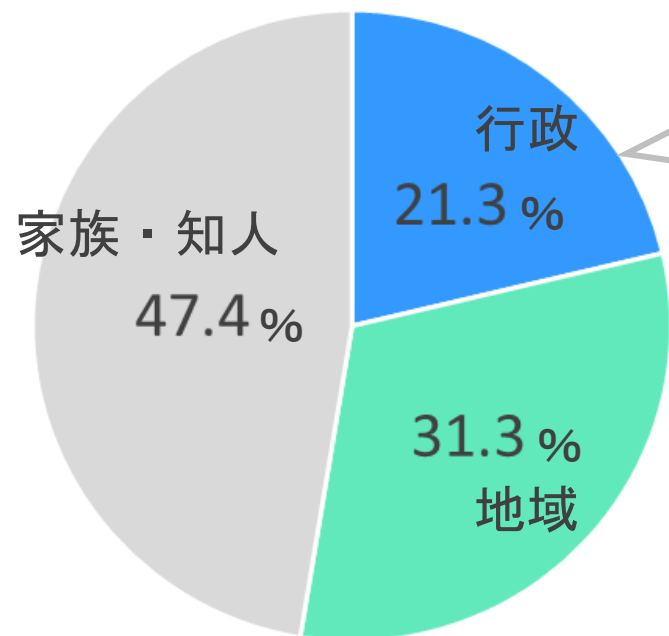
地域における『安心・安全な生活』に対する意識が高い。
➡『地域コミュニティをつなげること』は有効な手段である。

3. 重層的支援体制整備事業について

✓ 福祉、介護、子育てなどで困ったときに相談したことがある人（ところ）がありますか？（問16）

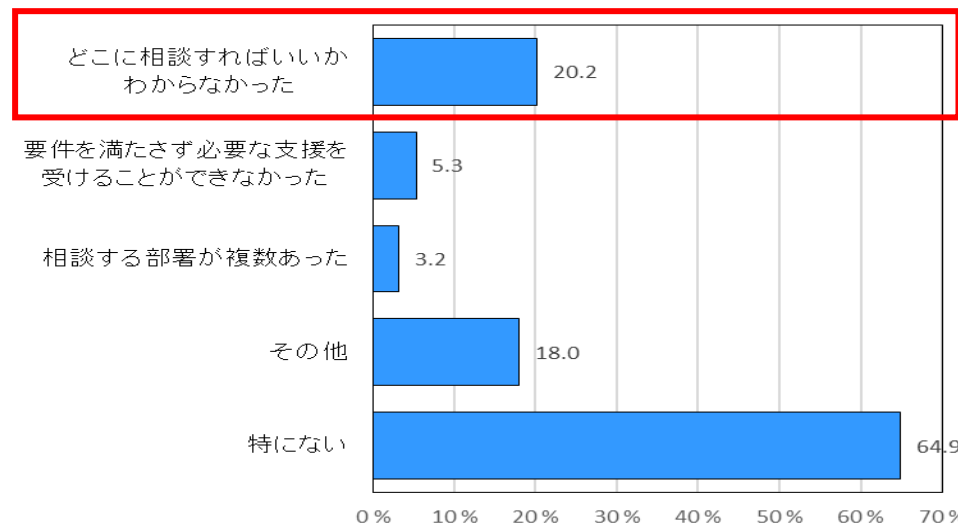
『相談をしたことがある』 60.5%

相談をしたことがあると答えた人の内訳



✓ 市に相談するときに困ったことがありますか？（問17 新設）

『特にない』 64.9%⇒35.1%の人は困った経験がある。

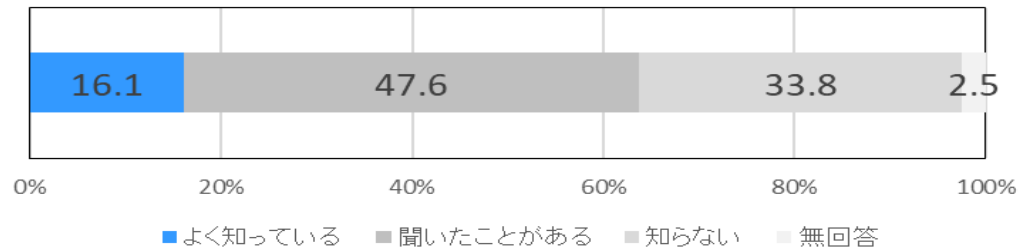


地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応するため、既存の地域づくり支援等を活かし、新たにアウトリーチ等を通じた継続的支援などを一体的に推進する。

4. 成年後見制度について

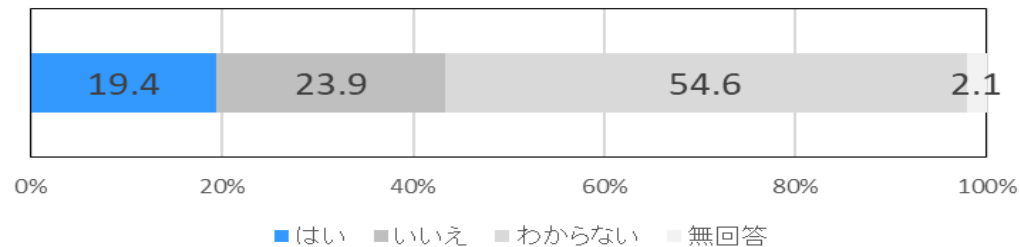
✓ 『成年後見制度』を知っていますか？（問18）

『知らない』 83.9%



✓ ご自身が認知症などで判断が十分にできなくなったとき、成年後見制度を利用したいと思いますか？（問19）

『はい』 19.4%

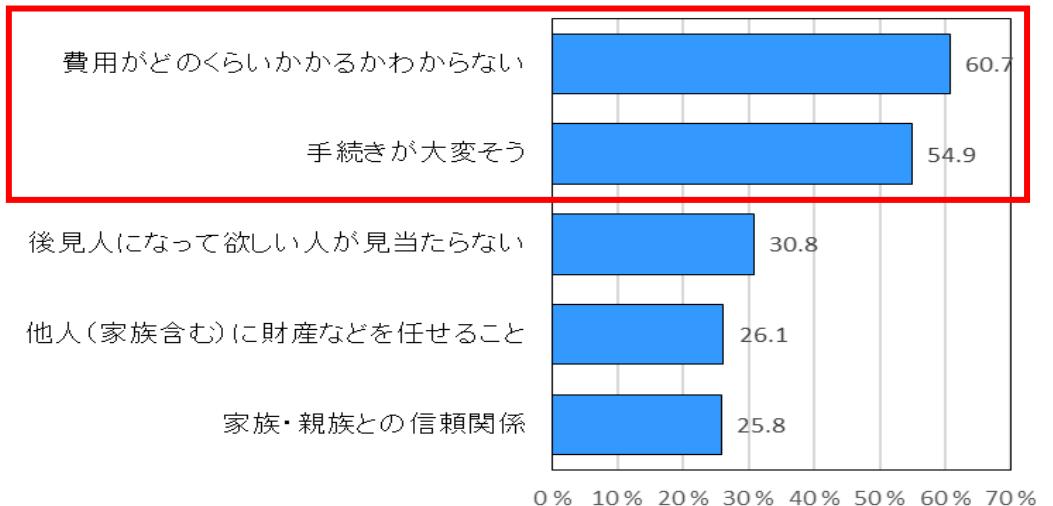


『はい』と答えた人

✓ 利用するにあたり、不安があれば教えてください。（問19-1）

『費用がどれくらいかかるかわからない』 60.7%

『手続きが大変そう』 54.9%



正しく制度を理解してもらい、利用促進のために取り組む。